令和8年度　大田区立南六郷中学校　自己評価　報告書

○　本校の概要

令和8年8月31日

■生徒数：505名　学級数：14学級（第1学年：5学級　第2学年：4学級　第3学年：5学級）　教員数：30名
「今年度の重点目標と方策」
◎3年間を見通した系統的な指導の推進
（1）笑顔が絶えない、あたたかで感動のある学校を目指す。（2）秩序があり、安全・安心を大事にする学校を目指す。（3）地域と共に子どもたちを育んでいく学校を目指す。

○　自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標		成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄 評価	人数	コメント
個別目標1 予測困難な未来社会を創造的に生きる力を育成します	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4：「おおむねできた」と全教員が回答した。		【生徒・保護者による学校生活・家庭生活アンケート 「自ら進んで授業に参加したり、仲間と協力して学習に取り組んだりすることができている」「運動会やぶどう祭などの学校行事は、楽しく充実したものになっている」「タブレットなど、ICT機器を効果的に活用した授業が進められている」「学校は、地域の力（保護者以外）を子どもたちの教育に活かしている」「学校行事や部活動、委員会などを通して、生徒一人一人が活躍できる教育活動が進められている」のアンケートの肯定的な回答	4：80%以上			A		
			3：80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2：60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1：「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4：「おおむねできた」と全教員が回答した。			3：70%以上			B		
			3：80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2：60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1：「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4：「おおむねできた」と全教員が回答した。			2：60%以上			C		
			3：80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2：60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1：「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
						1：60%未満			D		
個別目標2 世界とつながる国際都市お おたを担う人材を育成します	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4：「おおむねできた」と全教員が回答した。		【生徒・保護者による学校生活・家庭生活アンケート】 「相手を尊重し、思いやりの心を持ち、学校生活を送っている」「自分には良いところがある」「キャリアパスポートを生かし、キャリア教育がのアンケートに肯定的な回答 英語科の授業アンケートの肯定的な回答	4：80%以上			A		
			3：80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2：60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1：「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4：「おおむねできた」と全教員が回答した。			3：70%以上			B		
			3：80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2：60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1：「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4：「おおむねできた」と全教員が回答した。			2：60%以上			C		
			3：80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2：60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1：「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
						1：60%未満			D		
個別目標3 一人ひとりが個性と能力を発揮するための基礎となる力を育成します	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4：「おおむねできた」と全教員が回答した。		【生徒・保護者による学校生活・家庭生活アンケート】 「きちんとあいさつができている」「きまりを守ろうとしている」「学校での活動を通じて体力が向上している」「生徒の健康面を配慮した教育活動が進められている」「早寝・早起き・朝ごはんの啓発や、年間を通して体力が向上するような取り組みを推進している」のアンケートに肯定的な回答	4：80%以上			A		
			3：80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2：60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1：「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべてのこどもに確かな学力の育成を図っている。	4：「おおむねできた」と全教員が回答した。			3：70%以上			B		
			3：80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2：60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1：「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4：「おおむねできた」と全教員が回答した。			2：60%以上			C		
			3：80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2：60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1：「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4：「おおむねできた」と全教員が回答した。			1：60%未満			D		
			3：80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2：60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1：「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								

個別目標４ 学校力・教師力を向上させます	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		【生徒・保護者による学校生活・家庭生活アンケート】 「授業は楽しく、わかりやすい」「授業は生徒にとってわかりやすい」「タブレットなど、ICT機器を効果的に活用した授業が進められている」のアンケートに肯定的な回答	4:80%以上			A		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			3:70%以上			B		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。			2:60%以上			C		
			3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。								
			1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。								
		④感動のある教育活動に向けて取り組みを行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。			1:60%未満			D		
			3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。								
			1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。								
個別目標５ 自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		【生徒・保護者による学校生活・家庭生活アンケート】 「何でも話せる友だちがいる」「生徒や保護者が気軽に相談できる体制が整っている。（教員、スクールカウンセラーなど）」「サポートルームの充実を図り、特別支援教育を推進している」のアンケートに肯定的な回答	4:80%以上			A		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。			3:70%以上			B		
			3:80%以上100%未満の教員が回答した。								
			2:60%以上80%未満の教員が回答した。								
			1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			2:60%以上			C		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
						1:60%未満			D		
個別目標６ 柔軟で創造的な学習空間と安全・安心な教育環境をつくります	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		【生徒・保護者による学校生活・家庭生活アンケート】 「防災について、普段から家族で話し合っている」「学校からのたより（学校だより、学年だより、保健だよりなど）を読んでいる」「保護者に学校だよりや学年だより、学校HPやtetoru等で学校の様子を伝えている」「防災について、普段から家族で話し合っている」のアンケートの肯定的な回答	4:80%以上			A		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			3:70%以上			B		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
						2:60%以上			C		
						1:60%未満			D		
個別目標７ 学校・家庭・地域の連携・協働による地域の核としての学校をつくります	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体でこどもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		【生徒・保護者による学校生活・家庭生活アンケート】 「PTA活動は充実している」「学校は地域の力（保護者以外）を子どもたちの教育に活かしている」のアンケートの肯定的な回答	4:80%以上			A		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			3:70%以上			B		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			2:60%以上			C		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
						1:60%未満			D		

〇「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
〇記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
〇学校関係者評価の「評価」は、A：自己評価は適切である　B：自己評価はおおむね適切である　C：自己評価は適切ではない　D：評価は不可能である　の4点について、評価した人数を記載す